

荻窪北保育園園見学の際の質問への回答

2023年度9月27日時点

荻窪北保育園

こちらは、園見学に来た方からいただいた質問への回答を載せております。定期的に更新しておりますので、よろしければご覧ください。また、「よく聞かれる質問」も園見学に関するお知らせのページに載せてありますので併せてご確認ください。

【6月 7日】

・シフト提出の必要はありますか？

→特にシフトの提出はお願いしていません。保育時間については、入園前の面談にて確認させて頂いております。その際にシフトの詳細等を確認させて頂いております。

【6月29日】

・体調不良でお迎えに来た際、子どもはクラスにいるのか、静養室（保健室）にいるのか？

→基本的には、事務所や医務室等でゆっくりできる場所で待つようにしています。子どもの様子や体調の程度、その他の状況によっては、クラス内の落ち着いた場所で待つ経過することもあります。

・幼児クラスの場合、何か相談したい時は電話やお迎えの時のみか？

→お迎え時や電話以外にも、お時間のない時にはお手紙や希望者には個別ノートなどでやり取りすることもあります。

その他、個人面談を年一回、全家庭に実施させてもらっています。また、実施時期以外にも保護者からの希望によっては随時個人面談を実施しています。

・異年齢で交流・遊ぶ機会はありますか？

→幼児クラス（3.4.5歳）では、「こどもの日」「七夕の日」など季節や伝統、文化に応じた行事の際に交流・遊ぶ機会を定期的に設けています。また、お店屋さんごっこに招いたり、折紙・あやとりを教えてあげたり、日常の保育の中での交流・遊ぶ機会も意図的に設けています。

乳児クラス（0.1.2歳）も幼児クラスの行事や運動会の取り組みである荒馬踊りの様子を見に来たりと意識的に交流の機会を設けています。

異年齢交流の中で育まれる「憧れる気持ち」や「誇る気持ち」をはじめとした、子どもたちにとってなくてはならない大切な経験の時間になっています。

・「高尾山」で虫取りの交通手段は何ですか？

→年長クラスのお泊り会の活動で高尾山に行った時には、電車を利用して行きました。

その他、場所や活動に応じて貸し切りバスの利用なども行っています。

・保育士さんは何人いますか？1クラスにつき何人ついていますか？

→2023年度のクラス編成をご参照ください。

クラス/定員	0歳/11人	1歳/13人	2歳/16人	3歳/18人	4歳・5歳/合計40人
担任（正規）	4人	4人	3人	2人	2人

※正規職員以外にクラスごとに非常勤職員（有資格者含む）が朝・夕の保育時間に保育補助として適宜入っています。

※担任編成や保育補助職員は、年度の子どもの状況や職員状況に応じて変更する場合があります。

参考：【国の配置基準】

0 歳児 : 子ども 3 人に対して保育士 1 人

1~2 歳児 : 子ども 6 人に対して保育士 1 人

3 歳児 : 子ども 20 人に対して保育士 1 人

4 歳児以上 : 子ども 30 人に対して保育士 1 人

・ 3歳からは連絡帳ノートのようなものはないということですか？

→基本的にはありません。日々の様子については「今日の様子」という写真と文章をクラス前に掲示しております。また、送り迎えの際に口頭による伝達・連絡をしています。しかしながら、保護者の希望や家庭の状況に応じてノートによるやりとりなどを行うこともあります。

・ 食べることを無理強いすることはないですか？

→ありません。荻窪北保育園では、「楽しく食べる」ことを食事・食育の目標とし、以下のことを園として大切にしている食事を進めています。

- ① 楽しい雰囲気のを大切に
- ② 食べることを無理強いしない
- ③ 食べる事・終わりは子どもが決める
- ④ 食事の時は必要以上に注意しない

その上で、将来子どもたちが「食べることを好き」をなってくれたらと思っています。そのために、食事の場面以外での栽培活動や調理活動、その他「食」に関わる教材や環境の準備にも力を入れています。

・ 兄弟姉妹枠でどのくらいの枠が埋まるのでしょうか？

→入園の選定につきましては、杉並区が行っていますので、詳細は杉並区にお問い合わせください。

・ 入園時に卒乳した方が良いですか？（見学児、6か月の方）

→入園時の卒乳はお願いしていません。卒乳については、お子さん一人ひとりのペースで進めていくのが良いと考えています。心配なことがありましたら、いつでも保育士にご相談ください。

・ 持ち物に記名する際、お名前スタンプやシールの利用は問題ありませんか？

→特に記名の仕方については、指定していません。しかしながら、シールなどは剥がれた際に乳児さんが口に入れる恐れがあるため、剥がれないものをお願いしています。

【7月 4日】

・ お散歩についてくださる先生は何名（子ども〇人につき）になりますか？

→年齢（クラス）ごとに散歩（戸外）に引率する保育者の人数は異なりますが、必ず複数の職員が引率し活動します。以下、ご参考ください。

○0 歳：4~5 名に対し、保育者 2~3 名

○1 歳：13 名に対し、保育者 4 名

○2歳：16名に対し、保育者4名（内1名保育補助者）

○3～5歳：定員（18～20名）に対し、保育者2名 ※3歳は、保育補助者1名がつき、3名

※あくまでも目安ですが、時期や子どもの状況、クラス状況、活動内容等に合わせ、職員を配置しています。

・準備物について手作り必須のものはありますか？

→特にありません。エプロンや布団カバーなど、サイズや仕様等についてお願いしているものもありますが、サイズや仕様等を満たしていれば市販品、既成品のものでも構いません。

・保護者参加行事は平日に行われますか？

→保護者の方に参加をお願いしている行事は、大きなものでは「保護者会」と「運動会」になります。

保護者会は各クラス年二回（5月・2月）、平日の15:30～17:00にクラスごとに実施しています。可能な限りの参加をお願いしています。

運動会は、例年11月頃の土曜日の午前中に実施しています。3.4.5歳は当日の競技があるため、保護者にも参加をお願いしています。乳児クラス（0.1.2歳）については、2023年7月時点では未定となっています。

その他、個人面談や保育参観などは、クラスと各家庭で日程を調整の上、実施しています。

・連絡帳がアプリ化される予定はありますか？

→まだ現時点では導入の可否については未定ですが、検討事項の一つにはなっております。

・一時的に自転車を置くスペースはありますか？

→あります。玄関より右側のスペースを朝夕の送迎時の一時的な駐輪場として利用してもらっています。

・4歳、5歳クラスでオムツが外れていなくても大丈夫ですか？

→大丈夫です。成長や発達は個々によって異なりますので、その子の成長に合わせて家庭と連携しながら進めさせてもらっています。

・「のびのびゆったり」「しっかり丁寧に」だと、保育はどちらのスタイルに近いですか？

→質問に対する答えではないかもしれませんが、「じょうぶな体 たしかな考え ゆたかな心 を持った子どもを育てよう」を保育目標に掲げ、一人ひとりの子どもたちの声や思いを聴くことを大切にしたい保育を心がけています。子どもの主体性を大切に、一人ひとりの興味関心に寄り添い、言葉にならない思いに耳を傾け、子どもたちと丁寧に対話しながら日々の保育を進めています。「子どもにとって最善のもの」を追求しながらより良い保育を目指しています。

・男性の保育士さんは何名いますか？

→現在、5名の正規職員がいます。

・ミルクの持ち込みはできますか？（アレルギー等）

→基本的には、ミルクは園のものを使用します。特別な事情がある場合は、給食（栄養士）・保健（看護師）とも相談の上、対応を協議します。

・乳幼児突然死症候群対策について

→0歳児クラスにおいては、睡眠時はあおむけ寝を徹底した上で5分に一回の睡眠チェック（呼吸・顔色・そ

の他)を行い、必ず記録しています。うつ伏せ寝や横向き寝については、随時直しています。また、家庭でも仰向けで寝るように協力をお願いしています。

・防犯・災害対策について

→ここでは基本的な対策をお伝えさせていただきます。

(防犯について)

玄関の出入りについては電子錠を使用しています。暗証番号についても毎年変更した上で、必要な方(保護者及び職員)のみに通知しています。

職員間では、毎年防犯訓練や通報訓練を実施しています。

(災害対策について)

月一回の自衛消防訓練が義務付けられており、自衛消防計画を作成した上で毎月、地震や火災等をあらゆる時間帯で想定した訓練を行っています。その他、救命救急講習(心肺蘇生法・AED使用)や園内自主研修を実施し、備えるようにしています。

【9月26日】

・小学校へのスムーズな入学に向けて、近隣の小学校との交流活動等は実施されていますか?

→実施しています。スムーズな小学校との接続を図るため、毎年連携校と近隣の保育園や幼稚園が集まって話し合い、幼保小連携に取り組んでいます。その中で具体的な活動内容についても話し合い、進めています。参考として、昨年度は主に年長クラスが対象の活動ですが、下記のような取り組みを行いました。

「一年生との交流」

一年生に小学校の教室を案内してもらったり、一年生が考えたゲームや昔遊びなどの活動を通して交流を図ります。年の近い一年生との交流により、小学校への期待や見通しへと繋がります。

「五年生との交流」

小学校のアリーナ(体育館)で、五年生が考えた内容の運動遊びや集団遊びを通して、交流を図ります。大きなお兄さんお姉さんに緊張しながらも、優しく教えてもらったり、接してもらうことで、年上の人への憧れや小学校への期待へと繋がります。

「プレ運動発表会見学」

小学校の運動発表会に向けての一年生のリハーサル活動を見に行かせてもらいます。実際の小学校の活動の様子を見させてもらうことで、小学校に対する具体的なイメージや親しみへと繋がります。

「校庭開放」

保育園の子たちが小学校の校庭で遊ばせてもらいます。年長さんは、小学校を身近に感じ、入学を楽しみにする気持ちに繋がります。

・卒園後の進学状況を開示できる範囲で知りたいです。

→詳細はお伝え出来ませんが、ご家庭の状況等もありますので、年によって異なります。

・食事について、月齢に満たない形態の場合、ご相談して合わせていただけませんか?

→月齢による食事の進め方の目安はありますが、安全に美味しく食べられる環境を大切にしているので、一人ひとりの成長や発達、家庭での食事の様子に合わせて、給食とも連携しながら個別に丁寧に進めるようにしています。

・水分のタイミング、家から持参は可能でしょうか？

→水分は食事以外の朝夕の活動時も随時とるようにしています。また、子どもが水を飲みたい時には常に提供できるように常備しています。現在は、水筒などによる水分の持参はお願いしていません。

・来年4月入所の空き状況を教えてください。

→各年齢の定員枠が増える分とその他転園等による空きができることがあります。空き状況については杉並区役所にお問い合わせください。定員については下記をご参照ください。

(参考)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳
定員	11人	13人	16人	18人	20人	20人

・保護者参加行事は平日・休日どちらでしょうか？

→平日になります。日曜・祝日は保育園閉所の為、行事等も行いません。

・母乳の預けは可能でしょうか？

→冷凍母乳のお預かりは可能です。入園時にご相談ください。

・保育の年間の活動（カリキュラム）は決まった内容以外に新規で作られていますか？新規の活動は職員の方（担任の方）から提案される形でしょうか？

→園としての全体的な計画を作成し、その計画を基にクラス毎に年間指導計画を立てています。

それぞれのクラスは、クラス担任が年間指導計画を基にして、月案（月の活動計画）をたて、週案（週の活動計画）をたて、日案（その日の活動計画）をたて、日々の活動に取り組んでいます。

しかしながら、月案・週案・日案を考える際には、子ども達の姿を振り返り、その時の子ども達の興味関心や熱中している事に沿った活動や教材の準備、配慮等も計画に盛り込むようにしています。そのため、従来の計画と並行して「子どもの声」から始まる新しい活動計画も多くあります。そういった活動は、子ども達と担任が中心になって、対話しながら作り上げています。

・ホールでの活動は週一とのことでしたが、外に出られない時（梅雨など）は、ホールでの遊びの回数が増えるのでしょうか？

→基本的には、全クラス決まった曜日・時間の中でホール活動を行っています。（広さに限りがあるため、複数のクラスが同時にホールを使用できず、曜日・時間を分けて使用しています。）夕方や空いている時間などは、クラス毎に声を掛け合いながらホールを利用することもあります。

梅雨の時期や酷暑の時などは、戸外での活動が制限されるため、お互いに譲り合いながらにはなりますが、ホールを利用し、体を動かす時間を子ども達に保障できるようにしています。

また、ホールだけでなく室内でも粗大遊びや巧技台活動などを取り入れ、体を動かす充実感や満足感を保障できるようにしています。

・担任の先生は持ち上がりになりますでしょうか？

→乳児クラス（0.1.2歳）の内は、子ども達が安心感を得られるように持ち上がりの職員を配置することが多くなっています。幼児クラス（3.4.5歳）は、子どもの様子や園運営の状況等を検討した上での配置になりますが、持ち上がりの職員がいないこともあります。

・職員の異動などはありますか？

→社会福祉法人和光会では、荻窪北保育園以外に「阿佐ヶ谷保育園（杉並区）」「喜多見野の花保育園（世田谷区）」の3園を運営しており、その中で異動することはあります。

・絵本や玩具の入れ替えは、どれくらいの頻度で行っていますか？また先生方の手作りおもちゃなどがありますか？

→絵本や玩具は、子ども達の姿や季節等に合わせてクラス毎に随時入れ替えを行っています。保育計画を立てる際に、子どもの興味や今熱中していること、これから経験してほしいことなどを考慮して、残す絵本や玩具、新しい絵本や玩具を決定し、その都度環境構成を行っています。

手作り玩具は、五感を刺激する玩具、感触を楽しめる玩具、ごっこ遊びで見立てやすい玩具、粗大遊びに利用できる玩具などがあります。子どもの年齢発達や興味に照らし合わせながら、教材として準備・作成しています。

※後日、HPで「手作り玩具」をご紹介しますと思います。